

第26回 つくば臨床医学研究開発機構シーズ評価委員会 議事概要

日 時：令和4年1月14日（金）10:00～12:00

場 所：筑波大学附属病院 桐の葉モール2階ホール（ハイブリッド開催）

出席者：荒川（委員長）、浅井、小柳、陳、鶴嶋、野口、橋本、宮崎、森田、山田、和氣（事務局）

須藤、阿部（祐）、辻、阿部（正）、河内、小野瀬、石田、内田、大島、安保、高岡

（出席者は全員守秘義務について署名）

【議事】：

1. preF／シーズCの評価結果について

- 前回の委員会にて行われたヒアリング評価の結果及び大学病院臨床試験アライアンスでの選定結果に基づいて、6件のpreF（機関内3件、機関外3件）及び1件のシーズC（機関内）の計7件を機関採択シーズとして、AMED橋渡し研究プログラムへの応募に向けて支援することの報告がなされた。

2. 令和4年度「橋渡し研究プログラム」公募結果（シーズB／シーズF）

- 筑波大学拠点として令和3年10月18日から11月10日に行った公募における応募状況について以下の通り報告された。
 - ・応募総数は5件（機関内4件、機関外1件）であったこと
 - ・シーズ区分の内訳は、シーズBが5件であり、シーズFは応募がなかったこと

3. 申請シーズの評価・選定の進め方

- 「筑波大学拠点シーズB／シーズC／preF／シーズF評価実施要領」（以下「評価実施要領」という。）に基づいて、シーズBの評価及び選定の方法等について説明が行われた。

4. シーズBの評価

- 委員の利益相反の有無を確認のうえ、委員会に先立って、応募があった5件のシーズB（機関内1件、機関外4件）を対象に、1シーズあたり4名の委員により行われた書面での予備評価の結果が報告された。
予備評価の結果に基づいて、委員の評価点の平均が高かった4件（機関内1件、機関外3件）のヒアリングを行うこととされた。
引き続き、4件のヒアリングを行った。
- ヒアリングの結果に基づいて、委員の評価点の平均が高かった4件（機関内1

件、機関外3件)について、AMED申請に向けて支援することとした。

- 大学病院臨床試験アライアンスにおける審査によって、筑波大学に対する採択推薦シーズとして2件のシーズBが選定されたことの報告がなされた。

以上